

未来につながる「今」

美郷町立美郷南学園 猪股 なのほ

ウクライナとロシアについてのニュースが、連日報道されています。このニュースでは、必ず人の「死」が伝えられます。命を落とした人々には共通して「自国を守りたい」という気持ちがあります。

道徳の授業で、命は何よりも大切なものと習いました。しかし、今、自国を守るために何千もの命が消えていっています。国を守るために命が消える。この事実から、命よりも大切なものがあるんじゃないか、という考えも浮かんできます。

命をかけて戦わないと国がなくなってしまう。「命をかける」という行為によって、守られるものと失われるものがあります。国を守るために命をかけることと、命を守るために戦わないこと。どちらが正しいのか、わからなくなってきました。

先日、新聞で「沖縄戦」という記事を目にしました。「沖縄戦」とは、太平洋戦争が終わる少し前、住民を巻きこんだ日本とアメリカの戦争のことです。

記事の内容を紹介します。アメリカ軍は沖縄の小さな島に上陸し、軍艦や飛行機ではげしく攻撃して、沖縄本島に攻めこみました。地上でも戦闘になり、日本軍は追いつめられ、軍の幹部が自ら命を絶って、戦いは終わりました。沖縄戦で亡くなった人は、日本とアメリカを合わせ約二十万人で、このうち九万人以上が沖縄の一般の住民とみられているそうです。多くの学生も戦いの犠牲になっていて、国が起こした戦争から守られませんでした。沖縄県は、六月二十三日を「慰霊の日」とし、戦争で家族を失った人たちが、平和な世界にすることをちかっているという内容です。

この記事を読んで、「命」は戦いによってなくすべきものではなく、平和の中で燃やすべきものだと思います。

十五歳になった私は、将来のことを考えるようになりました。周りから、「志望校は決めた?」「将来どんな職に就きたいの?」と聞かれる頻度が、格段に上がっています。最近、密かに夢をもっています。それは、暮らしの中に、自分自身でたくさんの笑顔を作り出すことです。「めっちゃアバウトじゃん!」「そんな当たり前のこと?」と思うかもしれませんが、当たり前で幸せの絶えない暮らしを作っていきたいのです。

家族や親友、恋人、クラスメート、仲間。周りの人たちと一瞬一瞬を大切に、未来につながる「今」を楽しく過ごします。